



●大野小学校六年二組一同
千円を社会福祉にと寄附。
●高橋 彰さん(木場八割)
●高橋重光氏の香典返し、十万円を教育費の一助にと寄附。

アルコールとの上手な付き合い方

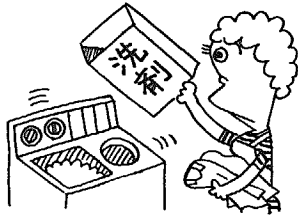
悩まずあなたも相談を...
身体的、精神的に悩んでおられる人、家族の方は、次の日程で相談会を開きますので、どうぞこの機会を逃さずに。
●とき 六月十六日(月)
午後一時三十分から

●停電●

●六月十六日
午後一時十分から四時半まで
●六月二十六日
午後一時十分から四時半まで
板井の全部

合成洗剤に含まれているリンが、川や海の水質を悪化させることはよく知られています。このため、最近では「無リン」あるいは「低リン」と表示した合成洗剤を店頭で見かけるようになりました。いうまでもなく、合成洗剤は石油を原料につくられますが、洗剤としての効力「洗浄力」を増すためにリンが使われています。リンは、窒素とならんで動物物の成長に欠かせない栄養素の一つです。ところが、合成洗剤の排水をはじめ工場排水や農業排水に含まれるリンや窒素が、湖水や河川などの水の出入りの少ない「閉鎖水域」に大量に流れこむと、水質

有リン洗剤は水質を悪化させる



は肥よく化し、いわば栄養過多の状態——富栄養化現象といえます——になります。この結果、藻類などの水生生物が異常繁殖し、水質が悪化するため、魚介類の生息に悪影響をおよぼします。

このような水質悪化を防ぐために、国(環境庁)では先ごろ「富栄養化対策」の一つとして、リンを含む合成洗剤の使用を自粛し、今後、無リンまたは低リンの洗剤や石けんの使用を促める方針を打ち出しました。無リン洗剤は、リンに代わる新しい成分を配合して作られたもので、リンをまったく含まない合成洗剤です。また「低リン」とは、リンの含有量が一定以下に抑えられているものです。水は、わたしたちにとって最も大切な資源です。水を保護し、わたしたち自身の生活環境を守るために、無リン・低リン洗剤や石けんへの切り替えが望まれています。

最後のチャンス 国民年金の特例納付

あなたの年金権は大丈夫ですか。
国民年金の特例納付は、加入しなければならぬのに加入していない人や、保険料を納め忘れていたために年金が受けられなくなっている人のために、特別に

過去の未納保険料が納められ、将来年金が受けられるという制度です。
もう一度、納め忘れられた保険料がないか確かめて下さい。
くわしいことは、役場住民課へおたずね下さい。
☎(7)3101番

五月の短歌

(做)小林弘氏追悼歌会

いく度か雅な歌を書き呉れし君が微笑み映に浮かぶ.....柏 直樹
むす午後は汗とめどなし庭作り雨を気にしつ土運びあり.....松沢 虎男
春雨のけぶりて視界狭ければハイウエーの車一時除けす.....青木 留吉
商売で訪ねし時もおだやかにつき合いくれし短歌の師は.....阿部 浄子
庭師の夢抱きし友をしのびつつ混み合う藤の枝をきりたり.....片岡 竹雄
病室に飾りてありし緋の牡丹君亡き庭に今年も咲きおこり.....泉井 ヨ子
年老いてこの地を去れる隣人の庭に今年も桜咲きおこり.....小出美穂子
たすね来し少年ありき弘といふ四十五年をつき合いて逝く.....酒井 庄平
君の忌に集えばおだやかに歌評するありし日の君顔ちかえりくる青木 きい
休日は草花の手入れをする夫にドーナツ作り茶をも添えたり.....風間 法子
水張りし青田に蛙鳴きやまぬ日の続くなり還りませ君.....石山マサ子
春蒔きの野菜の育ちたしかめて覆ひを降りぬ五月の二日.....平松清一郎
黙したるままに食べ終え階段を娘は上りゆく今宵も静か.....中倉 きぬ
白糸の流を詠みたる歌書きて賜ひし色紙形見となりぬ.....松田 貴枝
歌文集の原稿を持ちて来たりしが出版を見ずに君みまかりぬ.....渡辺 六一
絃外を背にし給ひて幽切れよき批評されたりはじめての日に.....無尽 紀子

血液は造ることはできない。



現代の科学の粋をもつてしても、血液は造ることはできません。この事実こそ「献血」——愛の血液助け合い運動の精神です。
七月は「愛の血液助け合い運動」が行われます。
輸血用の血液が必要なのは、とくに七月に限ったことではありませんが、例年、夏場は一年のうちで最も血液が不足しがちです。といいますが、七月、八月は山や海へ出かける人が多いばかりでなく、旅行をしたり、帰省する人々などのために、献血率はふだんの月に比べて大幅にダウンします。また、夏の暑さも、疲れ、だるさなどの原因となつて献血意欲を鈍らせていることも事実でしょう。しかし、輸血を必要とする患者さんに「夏休み」はありません。



県下小学校相撲大会で立仏小学校が二位に入賞

五月五日、護国神社において、第六回新潟県少年相撲大会が開かれ、黒埼町からは、立仏小チームが参加。よく健闘し、団体二位に入賞しました。
この大会は、県下各地から強豪九十人が参加。団体戦は、七名編成によるリーグ戦。立仏小は初出場とはいえ、「相撲黒埼」の名を十分に顕示する戦い振りで大いに観衆を魅了させました。また個人戦でもすばらしい活躍をしたような成績をあげました。
五年生の部 二位 阿部 栄 三位 小林賢司
四年生の部 三位 松本 靖
なお団体戦、個人戦に参加した児童は次の通り。
六年・滝口明、志賀浩二、大滝 榮を魅了させました。また個人戦でもすばらしい活躍をしたような成績をあげました。



賞状を手に喜びの各選手。

私も登場



温かい人柄と自然が好き

道々の柳の青さが目にしみて、田んぼの苗が、薫る風に揺れています。信濃川大橋の下を流れる川は静かでゆつたりしています。この地に移り住んで二年半、美しい自然を四季それぞれに満喫出来る幸せ

——静けさはどこへ行つたの？ 青い空とまわりに緑があるという事で心に潤いが出るなんて。自然はやはり偉大なのですね。それにあわせてこの土地の飾らない言葉と人柄がとても好きです。3・8日(び)に立つ市がそれのひ

鳥原大明 坂井 シズ子